

Network 通信

千葉市図書館情報ネットワーク協議会

20 周年記念 No.45 合併号

はじめに

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、千葉市内の館種を越えた図書館ネットワークを通じて、情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図ると共に、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的として、平成6年1月に設立されました。

Network 通信は、加盟館の情報交流並びに協議会の活動状況を加盟館利用者等にお知らせすることを目的とし、平成10年10月から発行しています。

「協議会発足20周年を迎えて」

会長 齊藤 誠一

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は平成6年1月に設立総会を行い、今年で20周年を迎えます。これも加盟館、関係者各位のご尽力の賜物と厚く御礼を申し上げます。

現在の図書館界では、“連携”や“つながる”がキーワードとなっていますが、千葉市では20年前にこの考え方を取り入れ、異館種間のネットワーク事業を協議会という形で始めています。本協議会の設立を起草し、それにご尽力をいただいた関係者のみなさんの先見の明と情熱に頭が下がる思いです。

本協議会の20年間の活動内容は、後掲の「千葉市図書館情報ネットワーク協議会20年の歩み」をご参照いただきたいと思います。この20年、図書館の情報提供機能も大きな変化の中にありました。特にITの進化は、目を見張るものがあります。20年前には成し得なかった所蔵情報の公開や共有化は、各図書館のOPACの公開やWebサイトの利用によって実現しております。また大学図書館の一般公開も進んできております。

当初、本協議会が構想していたことがITの進化によって実現している部分もあることは事実です。しかし、ネットワークの意義は、これだけではありません。いまの図書館に必要なことは、人と人との交流、人脈作りにあると思います。利用者への情報提供は、自館の所蔵資料のみで済むものではありません。また図書館員は自館のサービスに満足せず、広い視野を持ち、他館から学ぶ姿勢も必要です。そのためには、異館種間での人的交流も重要です。

後掲の古賀実生氏寄稿の『初代会長竹内紀吉先生の思い出』の中で、竹内紀吉先生は、「人に対して常にオープンで、いろいろな分野の人と関わり、いい意味で人を巻き込み、人的ネットワークを築いていく達人」と評しています。

初代会長の“人的ネットワーク”への姿勢を大切にしながら、今後の協議会運営にあたっていきたいと思います。

毎年秋に行っている加盟館展示は、市民の関心も高く、加盟館の周知にも役立っています。同時に行っている一般公開の講演会や加盟館職員を対象とした研修会は、人的交流の場にもなっています。また、年4回発行する『Network通信』もタイムリーな情報を掲載し、情報交流の促進を図っています。

千葉市には、本協議会というネットワークの仕組みが出来上がっていることを財産として、市民への情報提供サービスの向上を今後も充実させていきたいと思っています。



「協議会20周年を迎えて」

副会長 古館 生雄

千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、市内の館種を越えた図書館ネットワークを通じて、情報提供能力を強固にし、図書館サービスの向上を図ると共に、学術研究及び生涯学習の発展に寄与することを目的として、平成6年1月に当時27館の加盟館を以って設立されました。

このたび、協議会設立20周年という節目を迎えられたのは、大変喜ばしいことであり、これまで本協議会の活動を充実・発展させることができたのは、設立時に大変なお骨折りを頂いた方々をはじめ、歴代の会長や役員のご尽力、各加盟館のご協力、そして事務局の支えなど関係された皆様のお力添えの賜物でございます。ここに改めて、心から敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

本協議会は、各加盟館においてより良い図書館サービスを行うために、読書活動に繋がる情報を発信するほか、相互協力に関する調査研究、会員の研修や交流機会の提供、また協議会や加盟館の活動状況を知らせる広報誌の発行などを続けており、全国的に見てもあまり例のない事例と言えます。

館種の違う図書館が連携協力しながら、個々に持っている情報を共有し発信することで、相互に取得できる情報量はさらに拡がり、ひいては図書館利用者に多種多様な情報を提供することが可能となります。これらの魅力ある貴重な情報は、利用者を引きつけ必ずや読書活動に繋がるものと期待しているところです。

さて今日、国民の「読書離れ」が社会問題の一部として取り上げられています。文化庁の「国語に関する世論調査」（平成26年3月実施）によれば、1か月に大体何冊ぐらい本を読んでいるかの尋ねに対して、「1冊も読まない」と回答した割合が47.5%と最も高く、過去の調査結果（平成14年度）と比較すると、その割合は10ポイント増加しています。さらにこれらの人のうち、今後も「読書量を増やしたいとは思わない」と回答した割合は、半数近い44.7%となっています。いわゆる「不読者」と言われる人達が増加している傾向にあり、出版業界がかつてない不況の時代を迎えているとの報道も頷けるところです。

価値観の多様化、インターネットなど活字媒体に替わる情報メディアの普及等、要因は様々であると考えますが、生活環境の変化により今後ますます読書離れが加速することが危惧されます。まさに読書活動推進に携わる者としては、大変残念な結果であり何とも憂慮すべき事態と言えます。

読書や図書館に魅力を感じることなく価値を求めない人達に、自ら本を手に取り読書する「読書習慣の定着」に如何に向かわせることができるのか、今我々の成すべき使命を痛切に感じざるを得ません。そのためには、本協議会がこのような課題や問題解決に向け危機意識を持って役割を果たしていく必要があります。これまで以上に、知的財産を蓄積・共有し、利用者の高度で多様な求めに適切に対応できる、より魅力ある図書館サービスを行わなければなりません。また、安易にインターネット検索に依存せず、自ら紙媒体の書物により「調べる」意義や価値を理解してもらうことも必要であります。取り分け公共図書館においては、幼児期より読書の本質的な楽しさや素晴らしさを積極的に伝え、読書力の涵養に努めることが重要であると考えます。

私事ですが、折しも平成26年度末を以って現職を定年となるため、まもなく卒業を迎えます。残念ながら図書館を去ることになりますが、「協議会設立20周年」という記念すべき節目の年に、理事の一人として携わることができ大変光栄に存じます。

今後も、本協議会の役割と責務の重要性を認識するとともに、諸先輩の皆様の思いや願いを、また築き上げて頂いた業績を繋ぎつつ、大変微力ではございますが、これからも読書活動の推進に取り組んでいく所存でございます。

結びに、このたびの協議会設立20周年を契機に、本協議会がますます発展することを期待するとともに、加盟館会員の皆様がこれまで培われてきた豊かな知識と経験を活かし、一層ご活躍されますことをご祈念申し上げます。





発足20周年に寄せて

「千葉市発、千葉市育ちの協議会」

文部科学省生涯学習政策局長 河村 潤子

(当時千葉市教育委員会社会教育部参事)

平成6年の発足以来20年、御関係の皆様の御尽力により貴協議会が今日に至る歩みを続けて来られたことに、敬意と感謝を申し上げます。

今、発足当時の小さなエピソードを一つ思い起こしています。初めの準備会合では、敬愛大学の藤井さんから当座のバトンを受け取った千葉市教委が呼びかけ役を務めましたが、公文書ではなく事務連絡的な文書で様々な設置形態の機関の方々に会合参加への御案内をしたと記憶しています。これは、図書館機能を持つ施設や事業所の担当者が専門的な情報交換を行うのはそれぞれの職務の範囲内であり、あえて公文書がなければ出かけられないものではない、という理由以外に、「頼まれたから参加する」のではなく、志を持った人同士が対話し、協力して新しい事業を創ってゆくことを今回の集まりの趣旨としたいと考えたことにも拠っていました。某大学の参加者から「あれ、公文書はないのですか。」と意外そうに聞かれましたが、その人自身が、会合が始まると「こういうふわっとした集まり方もいいのかな。」と実感をこめて納得し、積極的に行動する仲間であり続けて下さいました。千葉市で学ぶ人のために、という同じ方向を見つめて、図書館資料を最大に活かすべく共にできる事業を構想することこそが、当時の「志」でした。千葉市が政令市に移行してまだ間を置かない年代であり、生涯学習を支える新たな施策を追求して熱く議論していた時期でもありました。



当時と比較すると、情報通信技術の発達は著しく、インターネット環境の普及・充実、電子書籍の広がりなど、今日の図書館を取り巻く状況は大きく変化しています。一人一人への情報の届け方には様々な選択が可能となり、利便性が向上していますが、市民が情報活用能力を格差なく身に付けるという課題もまた、生まれています。

社会教育施設としての図書館にも新たな役割が求められています。平成25年6月に閣議決定された「第2期教育振興基本計画」においては、図書館を含む社会教育施設を地域の振興・再生に貢献するコミュニティの中核として位置付け、多様なネットワークや協働体制を整備し、個々人の地域社会への自立的な参画を拡大することを目指しています。

さらに中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理(平成25年1月)では、今後、社会教育行政は、従来の「自前主義」から脱却し、小中学校等への支援や社会教育施設間の連携の強化のみならず、首長部局や大学等・民間団体・企業等とも自ら積極的に効果的な連携を仕掛け、地域住民も一体となって協働して取組を進めていくという「ネットワーク型行政」を推進していくことを提言しています。

とは言え、千葉市図書館情報ネットワーク協議会は、千葉市で生まれ、千葉市で育てられてきた会です。広義での千葉市民の暮らしと学びを豊かにするためにできる「何か」を、今、図書館に携わる人たちが自身が、創造し、発展させていくことを目指す会であると思います。20周年を迎え、新たな付加価値をどこに求めるか、今後の貴協議会からの発信を、祈る気持ちで期待申し上げます。

「ネットワーク協議会の繋がりに感謝」

事務局長 松尾 修一
(千葉市中央図書館長)

千葉市図書館情報ネットワーク協議会発足 20 周年を迎えた記念すべき年に、中央図書館長として就任間もない私が、めぐり合わせたことに正直、戸惑いと加盟館の皆様に対する感謝の気持ちが湧きあがりました。

特に図書館情報ネットワーク協議会の生みの親ともいえる元敬愛大学メディアセンター課長の藤井武彦さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

藤井さんからは、設立当初のお話しをお伺いしましたが、そのお話しから、館種を超えたネットワークを確立するこの協議会の存在意義は本当に大きく、大変すばらしいものだと感じました。

協議会の設立に向け奮闘していただいた藤井さんには改めて感謝申し上げます。

また、ご賛同いただいた加盟館の方々にも感謝いたしております。

20 周年の記念講演では、元浦安の図書館長で現在は、立命館大学教授の常世田良先生から「図書館における情報ネットワークの意義と必要性」をテーマにお話しを聞かせていただきました

講演の内容も良かったのですが、個人的には、記念講演が終わったあと控室で先生から言われた一言が印象的でした。

その一言とは、「館長さんは、たくさんの経験をしてきて図書館の外に人脈があり、行政の仕組みを知り、物が直接言えるような人が向いている」と行政職の私に励ましのエールをいただけたことでした。

常世田先生とは、12 月 21 日に図書館フレンズさんが主催された「まちづくりと図書館」のシンポジウムでも再びお会いすることが出来まし、元総務大臣で現在は、慶応義塾大学法学部教授の片山善博さんともお会いすることが出来ました。こうして、たくさんの方と知り合うことで新たな繋がりが出来ます。

繋がりとえば、中央図書館で実施しました「ナイトライブラリー」でも加盟館の方々には大変お世話になりました。

図書館が好きな学生や一度も図書館を利用していない学生さんとパネラーが繰り広げたやり取りは、聞いていて本当におもしろく、貴重で有意義な時間を過ごせたと感じました。

こうしたイベントのご協力も加盟館としての繋がりがあからこそ実現できたと思っています。ご協力いただき誠にありがとうございました。

今後は、この繋がりの中で司書の方たちとの交流も図られれば大変有意義なものになると個人的には考えています。

司書の方の専門性を生かした繋がりが出来れば本来の図書館の機能をさらに高めることが出来るのではないかと思います。

図書館情報ネットワーク協議会の場合でも取り掛かれるものがあればいいなと思っていますので、何か良いアドバイスがいただければ幸いです。

最後になりますが、20 年もの長い間、加盟館の方々には、ネットワーク協議会の発展に際しご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

今後も、加盟館の皆様方との繋がりを大切にして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



「ネットワーク協議会20周年記念設立準備委員懇談会報告」

藤井 武彦

(設立準備委員 元敬愛大学図書館)

ネットワーク協議会発足当時に関わった方々にお集まりいただき、懇談会を行った。その時の内容を簡単にまとめた。

- 1 日時:平成27年1月23日 午後1時～3時
- 2 場所:京葉銀行プラザ パスピエ
- 3 内容:協議会設立20周年を迎え、当時の庄司教育長と設立準備委員が集まり、齊藤会長の司会で20年前の事を思い出しながら歓談し、旧交を温めた。有意義な時間となった。
- 4 出席者 (敬称略)

- | | | |
|-----------------|-----------|----------------|
| ・元千葉市教育長 | 庄司一彦氏 | 当時教育委員会総務部長 |
| ・ネットワーク協議会会長 | 齊藤誠一氏 | 千葉経済大学短期大学部 教授 |
| ・ネットワーク協議会事務局長 | 松尾修一氏 | 千葉市中央図書館館長 |
| ・元千葉市図書館開設準備室 | 石井晴樹氏(退職) | |
| ・元放射線医学総合研究所図書室 | 森田恭子氏(退職) | |
| ・元淑徳大学図書館 | 藤川 昶氏(退職) | 吉野五月(退職) |
| ・元千葉経済大学総合図書館 | 古賀実生氏(退職) | |
| ・元敬愛大学図書館 | 藤井武彦(退職) | |
| ・寄稿参加 元放送大学図書館 | 白石光雄氏 | (横浜創英大学教学部長) |

※なお、川崎製鉄の深津義子氏、神田外語大学の丹羽重之氏には連絡がつかなかった。

5 経過

齊藤会長、松尾図書館長の挨拶後、歓談に入る。

【庄司】最初、市内大学図書館関係者から「大学図書館と市図書館とが連携を図り市民に図書利用サービスが出来ないか」との提言があり、直ちに文部省から着任した河村潤子参事(現文部科学省生涯学習政策局長)が担当して市内にある企業資料室、研究所図書室、大学・短大図書館等を集めた千葉市図書館情報ネットワーク協議会の構想が計画された。



【森田】市民の皆さんに放医研の存在と情報が提供できた。地域で同じ仕事の図書館職員と交流ができて有意義でした。

【藤川】協議会の存在を知らない図書館員や市民がいるのではないかと。再度利用広報が必要です。

【吉野】協議会を続けてこられた方々に感謝と敬意を表します。協議会が継続することで更なる市民サービスが行われると思います。





【古賀】図書館の開放や公開講座で市民の直接利用者が増加している。ネットワークの更なる活用で千葉市との連携を深めたい。

【藤井】発足時の関係図書館員は全員退職をしているので、新たな市民サービスの取り組みとネットワークの再構築が必要ではないか。一層の発展を祈念する。

【石井】千葉市が蔵書しない各分野の専門図書が利用できるのは市民にメリット。ネットワークを活用し市民の利用促進を図る。

齊藤会長のお礼の挨拶後、散会をした。

【寄稿参加】

「千葉市図書館情報ネットワーク協議会のさらなる発展とヒューマンネットワークの充実へ」

横浜創英大学教学部長 白石 光雄

(設立準備委員 元放送大学図書館)

千葉市図書館情報ネットワーク協議会が20周年を迎えたとのこと。おめでとうございます。本協議会の益々のご発展を期待しております。

千葉経済大学の竹内先生と敬愛大学の藤井さんから、千葉市内の大学図書館と公共図書館が中心となって市民利用促進が可能な図書館連携の仕組みを作ろうと協力要請があった時のことが思い出されます。設置準備関係者と何度となく打ち合わせ会や飲み会を重ねながら協力の在り方について情報交換したことを記憶しております。

その後、本協議会がスムーズにスタートを切れたのは、千葉市が新設中央図書館の構想もあり、齊藤準備室長(当時)の奔走により、また、世の中は、情報化の時代でもあり、図書館関係機関のネットワーク化も多くの地域、関係団体において形成されていった時代でもありました。

また、本協議会は、市内の大学図書館・市立図書館に止まらず、企業資料室、研究機関を含む連携も密に行なわれる地域密着型になっていたことが幸いしたと思います。その意味では、市内という限定された地域に多種多様な図書館連携による市民支援の協力体制が形成されたことにより、20年の間、持続的なサービスが行われてきたためではないでしょうか。

20年間の蓄積のある本協議会において、ネットワーク協議会に関わった人々によるヒューマンネットワーク化を図り、本協議会を支えていく時代になっても良いのかなとも思っています。

私も国立大学を定年になり、現在、神奈川県私立大学での勤務も3年間が過ぎようとしております。40数年間の大学勤務も、もうしばらく現役で頑張り、本協議会を外から関わることになりますが、ヒューマンネットワーク化に向け何がしかのお手伝いができたらと願っています。



「初代会長竹内紀吉先生の思い出」

元千葉経済大学総合図書館 古賀 実生
(元千葉市図書館情報ネットワーク協議会理事)

竹内先生と私は、先生が平成6年（協議会設立年）当時勤務されていた千葉経済大学短期大学部で共に仕事をしていた関係で、私も当協議会の理事を担当し会長を補佐し、また公私に渡りおつき合いさせていただいていました。その当時の思い出を断片的ではありますが記憶の範囲でお話させていただきます。

先生とおつき合いして感じていたことは、「人を巻き込む能力」の強さでした。

短大の卒業生たちと一緒に、先生の別荘に招待され夜遅くまで会食し談笑したことがありました。同じように、協議会のメンバーとも懇親会を開き忌憚らない意見を交換しました。こうした集まりの積み重ねの中から協議会立ち上げの構想も練り上げられていったように記憶しています。先生は、人に対して常にオープンで、いろいろな分野の人と関わり、いい意味で人を巻き込み、人的ネットワークを築いていく達人でした。そんな先生の性格が多くの有能な協力者を引き込み当協議会の設立、運営に繋がっていったのだと思います。

先生の初期の協議会構想には、次の3つの柱があったようです。

1. 加盟機関の情報共有
2. 物流の確保
3. 人的交流

特に、専門図書館との交流には、定型化しがちな館種別の図書館活動を活性化する効果を期待されていました。

竹内先生は、組織や施設より「アクティビティ（活動の実体）」やサービスを重視されていました。先に図書館があつて何をするかではなく、「何をするか、何をしたか」という計画と成果そのものが図書館の実体であるという大先達の廿日出逸暁先生（千葉県立図書館元館長）の持論と共通するものを感じました。

その廿日出先生が県立図書館で全国に先駆けて立ち上げられたブックモビルを走らせ、館外奉仕課の担当として県内の悪路をものともせず泊まりがけで巡回し、図書館ネットワークに血を通わせた原体験をお持ちの竹内先生にとって、物流システムはネットワークの生命線と考えられていたようでした。

また、千葉県公共図書館協会と連携し日本図書館協会の交付金を活用した研修会を企画され、県内の知財と資金の同時活用という“竹内流”アイデアを示されたりしました。

先生の個人的なエピソードを紹介しますと、ある年の定例会議終了後に、その足でパリへ個人旅行にでかけられるとのことで、会のメンバーに挨拶されているときの表情が、まるで遠足にでかける前の子供のように、喜びを隠そうともされずに輝いていたのが印象的でした。仕事の時の厳しく真剣な表情とまるで違う童心あふれた笑顔に先生の純粋さを感じました。



会長の任期を終えられたときは、現在へと繋がる会の骨格がほぼ出来上がっていましたが、物流システムの方向性については特に気にかけていました。情報のネットワークはコンピュータを中心とした機器の進歩と整備により発展してきましたが、物流は手段とコストの問題など古くて新しい難題として未だ残されています。

竹内先生だったら、今なにを仕掛けられることでしょうか？
急逝された後も天上から、協議会の行く末を子供の成長を見るようにきっと温かく見守ってくださっていると思います。



千葉市図書館情報ネットワーク協議会 20年までのあゆみ

平成5年度

平成5年 数度の準備的な会合

平成6年

1月12日 設立総会（会場：センシティタワー） 加盟館27館

:

:

平成16年度

平成16年

4月23日 平成16年度第1回理事会開催

5月14日 平成16年度総会及び第1回研修会開催

（会場：高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター）

平成16年度役員について

平成15年度事業報告並びに会計報告

監査報告

平成16年度事業計画案について

平成16年度会計予算案について

その他（連絡等）

事例報告：「子どもの読書活動の推進」を通じて

（千葉市中央図書館管理課 吉沢 安嗣）

施設の概要説明及び見学：高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター

7月28日 Network 通信No.17 発行

10月 8日 平成16年度第2回理事会開催

11月12日 平成16年度第2回研修会開催

（会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館）

講演会：「図書館・情報サービス分野におけるユネスコの活動」

（千葉大学文学部助教授 竹内 比呂也）

研究報告：「オハイオ州の電子図書館事情」

（日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館研究主幹 高木 敏朗）

12月24日 Network 通信No.18 発行

平成17年

2月 4日 平成16年度第3回研修会開催

概要説明：「次世代型IC図書館システム」

（富里市立図書館長 高橋 正名）

施設見学：富里市立図書館

3月 9日 Network 通信No.19 発行

3月24日 平成16年度第3回理事会開催

平成17年度

4月22日 平成17年度第1回理事会開催

5月20日 平成17年度総会及び第1回研修会開催

(会場：放送大学附属図書館)

平成17年度役員について

平成16年度事業報告並びに会計報告

監査報告

平成17年度事業計画案について

平成17年度会計予算案について

その他(連絡等)

事例報告：「地区図書館の管理運営—千葉市緑図書館の事例—」

(千葉市緑図書館長 田口 幸男)

施設の概要説明及び見学：放送大学附属図書館

8月27日 Network 通信No.20発行

10月7日 平成17年度第2回理事会開催

11月25日 平成17年度第2回研修会開催

(会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館)

講演会：「L I P E R共同研究から展望する今後の図書館情報学教育」

(東京大学大学院教育学研究科教授 根本 彰)

事例報告：「子どもの育ちを軸とする人と人とのネットワークづくりをめざして」

(千葉明德短期大学図書館 望月 春奈)

施設見学：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

平成18年

2月 3日 平成17年度第3回研修会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「図書館員は専門職たりうるか—L I P E R提言をもとにした将来展望」

(東京大学大学院教育学研究科教授 根本 彰)

事例報告：「レファレンス・データベースの実例」

(日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館 高橋 理枝)

施設見学：千葉市生涯学習センター調査・資料室、千葉市中央図書館

2月14日 Network 通信No.21発行

3月10日 平成17年度第3回理事会開催

3月31日 Network 通信No.22発行

平成18年度

4月26日 平成18年度第1回理事会開催

5月19日 平成18年度総会及び第1回研修会開催

(会場：財団法人海外職業訓練協会)

平成18年度役員について

平成17年度事業報告

平成17年度会計決算報告・監査報告について

平成18年度事業計画案について

平成18年度会計予算案について

その他（連絡等）

事例報告：「千葉市子ども読書活動推進事業—中央図書館の事例」

（千葉市中央図書館 川崎 玲子）

施設の概要説明及び見学：海外職業訓練協会の施設等の概要、O V T A 図書館

8月10日 Network 通信No.23 発行

9月 7日 平成18年度第2回理事会開催

11月 1日 加盟館紹介展開催（～11月12日まで）

11月10日 平成18年度第2回研修会開催

（会場：千葉市生涯学習センター）

講演会：「図書館におけるビジネス支援サービスの現状と展望」

（国立大学法人電気通信大学 産学官等連携推進本部特任教授 竹内 利明）

施設見学：千葉市生涯学習センター、千葉市中央図書館

平成19年

2月 8日 Network 通信No.24 発行

2月 8日 平成18年度第3回研修会開催

（会場：千葉市美術館）

事例発表：「資料の収集と保存」

（千葉市美術館学芸員 西山 純子）

施設見学：千葉市美術館美術図書室、「竹久夢二展」ギャラリートーク

3月 9日 平成18年度第3回理事会開催

3月28日 Network 通信No.25 発行

平成19年度

4月25日 平成19年度第1回理事会開催

5月25日 平成19年度総会及び第1回研修会開催

（会場：千葉県立中央図書館）

平成19年度役員について

平成18年度事業報告

平成18年度会計決算報告・監査報告について

平成19年度事業計画案について

平成19年度会計予算案について

その他（連絡等）

事例報告：「千葉県歴史関係雑誌記事索引及び貴重資料の電子化」

（千葉県立中央図書館 押澤 裕子）

施設見学：千葉県立中央図書館

8月 1日 Network 通信No.26 発行

8月23日 平成19年度第2回理事会開催

10月24日 平成19年度第2回研修会開催

(会場：淑徳大学看護学部図書室)

講演会：「情報リテラシーと図書館の課題」

(メディア教育開発センター事業推進部研究教育協力課長 小河原 正久)

事例報告：「小さくて可愛い図書室ができるまで」

(淑徳大学附属図書館千葉図書館事務室長 勝股 正一)

施設見学：淑徳大学看護学部図書室

11月 1日 加盟館紹介展開催(～11月11日まで)

12月15日 Network 通信No.27 発行

平成20年

2月28日 平成19年度第3回研修会開催

(会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館)

講演会：「市川市中央図書館における大学等との連携—現状と課題」

(市川市中央図書館情報サービスグループ主査 叶多 泰彦)

事例報告：「社会科学研究所の機関リポジトリ：アジア経済研究所学術研究リポジトリARRIDE」

(日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館 澤田 裕子)

施設見学：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

3月24日 平成19年度第3回理事会開催

3月31日 Network 通信No.28 発行

平成20年度

4月18日 平成20年度第1回理事会開催

5月16日 平成20年度総会及び第1回研修会開催

(会場：敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター)

平成20年度役員について

平成19年度事業報告

平成19年度会計決算報告・監査報告について

会則の一部改正について

平成20年度事業計画案について

平成20年度会計予算案について

その他(連絡等)

講演会：「映画『靖国』について」

(千葉敬愛学園理事長 近藤 龍夫)

講演会：「千葉商科大学付属図書館と市川市立図書館との提携業務の実際について」

(千葉商科大学付属図書館図書課長 宮澤 尚子)

事例報告：「『敬愛愛人文庫』のできるまで」

(敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター 藤井 武彦)

施設見学：敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター

8月29日 平成20年度第2回理事会開催

9月10日 Network 通信No.29 発行

10月30日 加盟館紹介展開催（～11月 9日まで）

11月14日 平成20年度第2回研修会開催

（会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館）

講演会：「韓国図書館における情報提供の状況—韓国の機関リポジトリを中心として—」

（韓国対外経済政策研究院知識情報室長 安 泰慶）

事例報告：「アジア経済研究所図書館デジタルアーカイブスについて—資料利用促進の取り組みと電子図書館—」

（日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館 加藤 真穂）

施設見学：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

12月24日 Network 通信No.30 発行

平成21年

1月28日 平成20年度第3回研修会開催

（会場：千葉市生涯学習センター）

講演会：「インターネットで使える国立国会図書館のレファレンス・ツール」

（国立国会図書館主題情報部参考企画課 中村 若生）

事例報告：「千葉市政の出前講座と図書館」

（千葉市中央図書館情報資料課 古川 和子）

施設見学：千葉市中央図書館

2月 6日 平成20年度第3回理事会開催

3月18日 Network 通信No.31 発行

平成21年度

4月24日 平成21年度第1回理事会開催

5月15日 平成21年度総会及び第1回研修会開催

（会場：神田外語大学附属図書館）

平成21年度役員について

平成20年度事業報告

平成20年度会計決算報告・監査報告について

平成21年度事業計画案について

平成21年度会計予算案について

ホームページ管理館について

その他（連絡等）

施設見学：神田外語大学附属図書館

7月28日 平成21年度第2回理事会開催

9月16日 Network 通信No.32 発行

10月16日 平成21年度第2回研修会開催

（会場：植草学園大学図書館）

講演会：「図書館における問題利用者—対応の表現をめぐって—」

(東京農業大学 教職・学術情報課程教授 中野 捷三)

事例報告：「千葉市図書館の困った利用者」

(千葉市中央図書館情報資料課主査 長塚 裕美子)

概要説明：「植草学園大学図書館の概要説明」

(植草学園大学図書館 図書・情報管理室長 森 生也)

施設見学：植草学園大学図書館

10月31日 加盟館紹介展開催(～11月10日まで)

平成22年

1月28日 平成21年度第3回研修会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「図書館におけるビジネス支援に関するレファレンス・ツール紹介 ①経済社会分野」

(国立国会図書館主題情報部科学技術・経済課経済社会係 坂尻 貢一)

講演会：「図書館におけるビジネス支援に関するレファレンス・ツール紹介 ②科学技術分野」

(国立国会図書館主題情報部科学技術・経済課科学技術係長 恩田 裕之)

講演会：「レファレンス共同データベース」

(国立国会図書館関西館図書館協力課課長補佐 鈴木 智之)

3月26日 平成21年度第3回理事会開催

3月31日 Network 通信No.33発行

平成22年度

4月23日 平成22年度第1回理事会開催

5月27日 平成22年度総会及び第1回研修会開催

(会場：千葉市美術館 講堂)

平成22年度役員について

平成21年度事業報告

平成21年度会計決算報告・監査報告について

平成22年度事業計画案について

平成22年度会計予算案について

ホームページ管理館について

その他(連絡等)

事例報告：「美術館と本：展示から考える」

(千葉市美術館学芸員 西山 純子)

概要説明：「伊藤若冲展」

(千葉市美術館広報担当 高田 紫帆)

施設見学：千葉市美術館「伊藤若冲展」

9月30日 平成22年度第2回理事会開催

10月30日 加盟館紹介展開催(～11月9日まで)

11月26日 平成22年度第2回研修会開催

(会場：日本貿易振興機構アジア経済研究所)

事例報告：「アジア経済研究所図書館運営業務の市場化テストの経緯と現状について」

(日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館長 井村 進)

(日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館課長 伊藤 えりか)

施設見学：日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

平成23年

3月13日 平成22年度第3回研修会(中止)

3月23日 平成22年度第3回理事会開催(中止)

平成23年度

5月13日 平成23年度第1回理事会開催

6月28日 平成23年度第2回理事会開催

7月14日 平成23年度総会及び第1回研修会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

平成23年度役員について

平成22年度事業報告

平成22年度会計決算報告・監査報告について

平成23年度事業計画案について

平成23年度会計予算案について

協議会ホームページの運営について

その他(連絡等)

事例報告：「東日本大震災 図書館の被災から復旧へー今後の教訓としてー」

(放送大学附属図書館図書情報課長・副館長 三浦 正克)

事例報告：「3. 11 報告と反省とこれからのこと」

(千葉県立中央図書館館内奉仕課長 伊藤 博)

8月31日 Network 通信No.34 発行

10月29日 加盟館紹介展開催(～11月 8日まで)

11月 1日 平成23年度講演会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「芸術としてのことわざ世界」

(いろはカルタ・ことわざ収集・研究家、日本ことわざ文化学会理事、明治大学ことわざ学

研究所客員研究員 時田 昌瑞)

12月16日 平成23年度第3回理事会開催

平成24年

1月31日 Network 通信No.35 発行

2月23日 平成23年度第2回研修会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「埼玉県における図書館連携活動の状況について」

(埼玉県立浦和図書館企画・システム担当主席司書主幹 民本 圭子)

講演会：「市川市中央図書館における大学等との連携ー(その2)近年の進展と課題の考察ー」

(市川市中央図書館資料情報サービスグループ副主幹 叶多 泰彦)

3月23日 平成23年度第4回理事会開催

3月29日 Network 通信No.36発行

平成24年度

4月27日 平成24年度第1回理事会開催（中止）

6月 7日 平成24年度総会及び第1回研修会開催

（会場：千葉県立中央図書館）

平成23年度事業報告について

平成23年度会計決算報告及び監査報告について

平成24年度事業計画（案）について

平成24年度会計予算（案）について

ホームページ管理館案について

理事の改選について

その他

事例報告：「障害者サービスとネットワーク」

（千葉県立中央図書館館内奉仕課主事 若菜 好洋）

施設見学：千葉県立中央図書館

9月 1日 Network 通信No.37発行

10月27日 加盟館紹介展開催（～11月6日まで）

11月 1日 平成24年度講演会開催

（会場：千葉市生涯学習センター）

講演会：「電子書籍の可能性～利用と課題～」

（株式会社紀伊國屋書店eコマース事業本部理事 牛口 順二）

12月18日 平成24年度第2回理事会開催

12月25日 Network 通信No.38発行

平成25年

2月22日 平成24年度第2回研修会開催

（会場：千葉大学附属図書館）

概要説明：「千葉大学附属図書館見学会」

（千葉大学附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長 竹内 比呂也）

施設見学：千葉大学附属図書館

3月31日 Network 通信No.39発行

平成25年度

5月14日 平成25年度第1回理事会開催

6月25日 平成25年度総会及び第1回研修会開催

（会場：放送大学附属図書館）

平成25年度役員について

平成24年度事業報告について

平成24年度会計決算報告及び監査報告について

平成25年度事業計画について

平成25年度会計予算について

連絡事項

事例報告：「図書館とSNS—Twitter 開始から1年の報告—」

(神田外語大学附属図書館 吉野 知義)

施設見学：放送大学附属図書館

9月 1日 Network 通信No.40 発行

10月26日 加盟館紹介展開催(～11月5日まで)

11月 5日 平成25年度講演会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「東日本大震災 図書館活動から見えてくるもの」

(東松島市図書館副館長 加藤 孔敬)

12月20日 平成25年度第2回理事会開催

平成26年

1月10日 Network 通信No.41 発行

2月14日 平成25年度第2回研修会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「千葉市図書館における地域・行政資料の収集と活用」

(千葉市中央図書館情報資料課主事 小林 正幸)

講演会：「地域資料のデジタルアーカイブ化」

(千葉市中央図書館管理課主任主事 松崎 直也)

施設見学：千葉市中央図書館、千葉市生涯学習センター

3月31日 Network 通信No.42 発行

平成26年度

5月23日 平成26年度第1回理事会開催

7月 4日 平成26年度総会及び第1回研修会開催

(会場：千葉県立保健医療大学図書館)

平成25年度事業報告について

平成25年度会計決算報告及び監査報告について

平成26年度事業計画(案)について

平成26年度会計予算(案)について

平成26年度役員(案)について

その他(報告・連絡等)

事例報告：「教師から見た『読書指導』と学校図書館」

(増田学園図書館 南波 省吾)

概要説明：「千葉県立保健医療大学図書館の概要説明」

(千葉県立保健医療大学図書館 中浴 佳男)

施設見学：千葉県立保健医療大学図書館

10月 1日 Network 通信No.43 発行

10月18日 加盟館紹介展開催(～10月24日まで)

10月24日 20周年記念講演会開催

(会場：千葉市生涯学習センター)

講演会：「図書館における情報ネットワークの意義と必要性」

(立命館大学教授 常世田 良)

座談会：「千葉市図書館情報ネットワーク協議会の意義と今後」

(千葉経済大学短期大学部 齊藤 誠一)

(立命館大学教授 常世田 良)

(元敬愛大学メディアセンター職員 藤井 武彦)

(千葉市中央図書館職員 秋葉 千恵)

12月19日 平成26年度第2回理事会開催

12月25日 Network 通信No.44 発行

平成27年

2月 6日 平成26年度第2回研修会開催

(会場：千葉大学附属図書館)

事例報告：「大学図書館における多彩な空間利用」

(千葉大学附属図書館長、アカデミック・リンク・センター長 竹内 比呂也)

施設見学：千葉大学附属図書館



加盟館案内

放射線医学総合研究所図書室

所在 〒263-8555

千葉市稲毛区穴川 4-9-1

(J R稲毛駅東口から徒歩 10 分)

電話 043-206-3053 FAX 043-287-7629

開設 1957 年 7 月

面積 765 m²

蔵書 図書：19,186 冊 雑誌：256 誌 新聞：13 紙
DVD：25

開館 月～金 (9:00～17:00)

休館 土、日、祝日、年末年始

特徴 放射線の影響や放射線の医学利用に関する文献
を中心に収集。UNSCEAR、IAEA、ICRP、NCRP 等
の国際機関のレポートも所蔵。

H P <http://www.nirs.go.jp/publication/library.shtml>



神田外語大学附属図書館

所在 〒261-0014

千葉市美浜区若葉 1-4-1 (J R京葉線海浜幕張
駅から徒歩 15 分、JR 総武線幕張駅南口から徒歩
20 分)

電話 043-273-1192 FAX 043-275-2783

開設 1987 年 4 月

面積 3,821 m²

蔵書 図書：176,531 冊 雑誌：722 誌 新聞：21 誌
CD：413 DVD：685

開館 月～金 (9:00～19:50)、土 (9:00～17:00)、
休業中 (月～金 9:00～16:30、土 休館)

休館 日、祝日、毎月最終土、創立記念日(10 月 18 日)、
春・夏・冬期休業中の一定期間

特徴 言語学、地域研究関係図書を中心に人文科学、社
会科学関係の資料を収集。特殊コレクションとし
てケネス・レクスロス・コレクション (米国の詩
人の蔵書)、洋楽コレクションを所蔵。

H P <http://kuis.libguides.com/home>



敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター

所在 〒263-8588

千葉市稲毛区穴川 1-5-21

(JR総武線稲毛駅東口から徒歩 13 分)

電話 043-284-2307 FAX 043-284-4196

開設 1966 年 4 月

面積 1,520 m²

蔵書 図書：156,990 冊 雑誌：469 誌 新聞：23 紙
CD：347 DVD：1,366

開館 月～金 (9:00～18:30)、
休業中 (9:30～15:30)

休館 土、日、祝日、敬愛の日 (6 月 3 日)、
夏・冬期休業中一定期間

特徴 経済・経営・国際・教育関係図書を中心に収集。

HP <http://www.u-keiai.ac.jp/kulir/index.html>



淑徳大学附属図書館千葉図書館

所在 〒260-8701

千葉市中央区大蔵寺町 200

電話 043-265-7335 FAX 043-265-8084

開設 1965 年 4 月

面積 1,745 m²

蔵書 図書：251,957 冊 雑誌：820 誌 新聞：22 誌
視聴覚資料：約 13,700 点

開館 月～金 (9:00～20:40)、土 (9:00～16:30)

休館 日、祝日、年末年始、大学が定めた日

特徴 千葉図書館の基本方針は、

- ①社会科学系学術図書館をめざす
- ②図書館のコンピュータ化（電算化）に対応すべき
基盤の整備
- ③障害者に配慮した図書館機能の充実
の 3 つがあげられる。

HP <http://www.shukutoku.ac.jp/library/chiba/>



千葉経済大学総合図書館

所在 〒263-0021

千葉市稲毛区轟町 3-59-5 (JR西千葉駅から徒歩 13 分、千葉都市モノレール作草部駅から徒歩 5 分)

電話 043-253-9941 FAX 043-255-3831

開設 1993 年 4 月

面積 2,269 m²

蔵書 図書：203,541 冊 雑誌：1,332 誌 新聞：18 紙
CD：1,509 DVD：863

開館 月～金 (8:45～19:00)、土 (8:45～16:30)

休館 日、祝日、年末年始、大学が定めた日、春・夏・
冬期休業中の一定期間、大学祭 (11 月初旬)

特徴 オンラインデータベース (EBSCOhost 他)。人文・
社会科学原典コレクション (スコットランド啓蒙
関係他)。経済・経営・教育・情報関係資料。地
域開放 (貸出等)。

H P <http://lib.cku.ac.jp/>



千葉県立中央図書館

所在 〒260-8660

千葉市中央区市場町 11-1 (JR本千葉駅から徒歩 7 分、京成千葉中央駅から徒歩 15 分、千葉都市モノレール「県庁前駅」から徒歩 5 分)

電話 043-222-0116 FAX 043-225-8355

開設 1924 年 3 月

面積 6,171 m²

蔵書 図書：852,469 冊 雑誌：3,682 誌 新聞：78 誌

開館 火～金 (9:00～19:00)、土・日・祝日・休日
(9:00～17:00)

休館 月 (祝日・休日の時はその翌日)、毎月第 3 金 (祝
日・休日の時はその前日)、年末年始、特別整理期
間

特徴 県内の市町村立図書館等を支援するとともに、調
査研究図書館として、利用者の皆様に資料を提供。
横断検索。資料の長期保存。

H P <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/guide/central/index.htm>



千葉県議会図書室

所在 〒260-8722

千葉県中央区千葉港 1-1

電話 043-245-5472 FAX 043-245-5565

開設 1970 年 4 月

面積 56 m²

蔵書 図書：14,692 冊 雑誌：6 誌 新聞：8 紙

開館 月～金（8：30～17：30）

休館 土、日、祝日、年末年始

特徴 市議会議員の調査研究に役立てるため、行政関係資料を中心に収集。一般利用は、閲覧のみ可。



千葉県教育センター図書資料室

所在 〒263-0021

千葉県稲毛区轟町 3-7-9

電話 043-285-0905 FAX 043-256-3778

開設 1984 年 4 月

面積 108 m²

蔵書 図書：19,131 冊 雑誌：18,382 誌 新聞：5 誌

開館 月～金（9：00～17：15）

休館 土、日、祝日、年末年始

特徴 教職員の研究のための資料収集。一般利用不可。



千葉市美術館美術図書室

所在 〒260-8733

千葉市中央区中央 3-10-8 (JR 千葉駅東口から徒歩 15 分、千葉都市モノレール「葭川 (よしかわ) 公園駅」から徒歩 5 分)

電話 043-221-2311 FAX 043-221-2316

開設 1995 年 11 月

面積 71 m²

蔵書 図書：29,475 冊 雑誌：1,466 誌 CD：23
DVD：200

開館 10：00～18：00

休館 第 1 月、年末年始

特徴 美術書専門の図書室として、開催中の展覧会に関係した参考図書の紹介や、国内外の美術館が刊行した図録及び画集等の閲覧に供している (コピーサービスは行っていない)。

H P http://www.ccma-net.jp/facilities_img/a_bookroom.htm



千葉市中央図書館

所在 〒260-0045

千葉市中央区弁天 3-7-7 (JR 千葉駅から徒歩 8 分、千葉都市モノレール千葉公園駅から徒歩 5 分)

電話 043-287-3980 FAX 043-287-4074

開設 2001 年 4 月

面積 10,275 m²

蔵書 図書：989,504 冊 雑誌：759 誌 新聞：117 誌
CD：7,852 DVD：2,780

開館 火～金 (9：30～21：00)、土・日・祝日・休日
(9：30～17：30)

休館 月 (ただし祝日・振替休日の場合は翌日)、図書整理日 (毎月第 3 木、ただし祝日の場合は翌日)、年末年始、特別整理期間

特徴 自動出納書庫 (公共図書館初)、BDS 設置 (カバン等の持込可)、バリアフリー端末設置、ブックポスト返却本自動搬送装置 (全国初)、ハートビル法基準に適合。

H P <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市みやこ図書館

所在 〒260-0001

千葉市中央区都町 3-11-3（ＪＲ千葉駅から中央バス(1)番線「大宮団地」行き「都町球場入口」下車徒歩 3 分）

電話 043-233-8333 FAX 043-234-4187

開設 1989 年 11 月

面積 1,754 ㎡

蔵書 図書：139,679 冊 雑誌：114 誌 新聞：10 紙
CD：1,902 DVD：17

開館 火～日・祝日・休日（9：00～17：15）

休館 月（ただし祝日・振替休日の場合は翌日）、図書整理日（毎月第 3 木、ただし祝日の場合は翌日）、年末年始、特別整理期間

特徴 身近な市民の書斎として活用されている。白旗分館がある。

H P <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市花見川図書館

所在 〒262-0005

千葉市花見川区こてはし台 5-9-7
（ＪＲ稲毛駅から京成バス「こてはし団地」行「こてはし第三」下車 徒歩 1 分）

電話 043-250-2851 FAX 043-250-2853

開設 1978 年 5 月

面積 1,200 ㎡

蔵書 図書：138,585 冊 雑誌：145 誌 新聞：9 誌
CD：2,163 DVD：18

開館 火～日・祝日・休日（9：00～17：15）

休館 月（ただし祝日・振替休日の場合は翌日）、図書整理日（毎月第 3 木、ただし祝日の場合は翌日）、年末年始、特別整理期間

特徴 利用しやすい、地域の生涯学習施設。花見川団地分館がある。

H P <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市稲毛図書館

所在 〒263-0043

千葉市稲毛区小仲台 5-1-1（ＪＲ稲毛駅から
徒歩 10 分）

電話 043-254-1845 FAX 043-284-4795

開設 1972 年 6 月

面積 2,800 ㎡

蔵書 図書：159,569 冊 雑誌：139 誌 新聞：9 紙
CD：2,496 DVD：17

開館 火～日・祝日・休日（9：00～17：15）

休館 月（ただし祝日・振替休日の場合は翌日）、図書
整理日（毎月第 3 木、ただし祝日の場合は翌日）、
年末年始、特別整理期間

特徴 市で最初に設置された図書館。市優秀建築賞を
受賞。緑豊かな環境にあり、住民が利用しやす
い施設。

ＨＰ <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市若葉図書館

所在 〒264-0004

千葉市若葉区千城台 2-1-1（千葉都市モノレー
ル千城台駅から徒歩 3 分）

電話 043-237-9361 FAX 043-237-5163

開設 1974 年 8 月

面積 1,147 ㎡

蔵書 図書：119,349 冊 雑誌：118 誌 新聞：11 誌
CD：2,046 DVD：12

開館 火～日・祝日・休日（9：00～17：15）

休館 月（ただし祝日・振替休日の場合は翌日）、図書
整理日（毎月第 3 木、ただし祝日の場合は翌日）、
年末年始、特別整理期間

特徴 子どもから大人までが気軽に利用しやすい、地
域密着型の図書館。西都賀分館・泉分館がある。

ＨＰ <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市緑図書館

所在 〒266-0031

千葉市緑区おゆみ野 3-15-2（ＪＲ鎌取駅から
徒歩５分）

電話 043-293-5080 FAX 043-293-5100

開設 2000年４月

面積 1,940㎡

蔵書 図書：153,755冊 雑誌：188誌 新聞：12紙
CD：2,820 DVD：9

開館 火～日・祝日・休日（9：00～17：15）

休館 月（ただし祝日・振替休日の場合は翌日）、図書
整理日（毎月第３木、ただし祝日の場合は翌日）、
年末年始、特別整理期間

特徴 鎌取コミュニティセンターと複合施設
滞在型図書館

１階に読書室、レファレンス室を設けている
あすみが丘分館・土気図書室がある

ＨＰ <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉市美浜図書館

所在 〒261-0014

千葉市美浜区高洲 3-12-1（ＪＲ稲毛海岸駅
から徒歩５分）

電話 043-277-3003 FAX 043-278-4303

開設 1980年１１月

面積 879㎡

蔵書 図書：109,850冊 雑誌：110誌 新聞：10誌
CD：3,773 DVD：7

開館 火～日・祝日・休日（9：00～17：15）

休館 月（ただし祝日・振替休日の場合は翌日）、図書
整理日（毎月第３木、ただし祝日の場合は翌日）、
年末年始、特別整理期間

特徴 図書館（１階）は、コミュニティーセンターと
の複合施設。打瀬分館がある。

ＨＰ <http://www.library.city.chiba.jp/>



千葉大学附属図書館

所在 〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町 1-33 (J R 西千葉駅北口
から徒歩 10 分)

電話 043-290-2258 FAX 043-290-2265

開設 1950 年 4 月

面積 15,257 m²

蔵書 図書：1,037,476 冊 雑誌：15,145 誌
新聞：66 紙 CD：845 DVD：689

開館 平日 (8:30~21:45 [試験期] 8:30~23:00 [休業期] 9:00~16:45)、土・日・祝日
(10:30~18:00 [試験期] 10:30~20:00)

休館 休業期の土・日・祝日・年末年始、館内整理期間 (8 月中旬)、大学祭 (11 月初旬)、
入学試験日

特徴 自動貸出・返却装置。電子ジャーナル、電子ブックの提供。

H P <http://www.ll.chiba-u.ac.jp/>



千葉明德短期大学図書館

所在 〒260-8685

千葉市中央区南生実町 1412 (京成ちはら線
「学園前駅」から徒歩 3 分)

電話 043-265-1613 FAX 043-265-1627

開設 1970 年 4 月

面積 207 m²

蔵書 図書：20,268 冊 雑誌：34 誌 新聞：1 誌
CD：381 DVD：229

開館 月～金 (9:00~17:00)

休館 土・日・祝日・年末年始

特徴 幼児教育学科単科の図書館のため、関連の専門
資料・絵本を多く所蔵。資料は授業別に配架。



東京歯科大学図書館

所在 〒261-8502

千葉市美浜区真砂 1-2-2 (京成稲毛駅から徒歩
約 15 分)

電話 043-270-3795 FAX 043-270-3578

開設 1906 年 4 月

面積 1,960 m²

蔵書 図書：228,351 冊 雑誌：4,491 誌 新聞 13 紙
CD：51 DVD：251

開館 月～金 (9:00～19:00)、土 (9:00～13:00)

休館 日・第 2 土・祝日・創立記念日 (2 月 12 日)、
年未年始

特徴 歯学分野を中心に、図書・雑誌を所蔵。一般利
用は閲覧のみ可 (医療関係従事者、公共図書館
からの紹介者に限る)。複写サービス有。

H P <http://www.tdc.ac.jp/lib/>



東京情報大学情報サービスセンター

所在 〒265-8501

千葉市若葉区御成台 4-1 (千葉都市モノレール
「千城台駅」から京成バスで約 7 分)

電話 043-236-4617 FAX 043-236-2662

開設 1988 年 4 月

面積 4,355 m²

蔵書 図書：123,940 冊 雑誌：1,977 誌
新聞：16 誌 DVD：442

開館 月～金 (9:15～20:00 [長期休暇中]18:00
まで [夏期]17:15 の場合あり)、土 (10:00
～16:00)

休館 日・祝日・法人創立記念日 (3 月 6 日)、その他
大学が定めた日

特徴 無線 LAN を備えたネットワーク環境。自主制作
映画作品を VOD で配信。研究紀要・OPAC を Web
上で配信。BDS、館内監視システム等の設置。

H P <http://www.tuis.ac.jp/library/index.html>



放送大学附属図書館

所在 〒261-8586

千葉県美浜区若葉 2-11

電話 043-298-4298 FAX 043-298-4382

開設 1983 年 4 月

面積 5,302 m²

蔵書 図書：334,836 冊 雑誌：2,056 誌

新聞：11 紙

開館 月～金（9：00～18：30）、土・日・祝日
（9：00～20：00）

休館 毎月第 4 月曜日（1 月、7 月を除く）、年末年始

特徴 放送大学放送教材・印刷教材。BBC ビデオコレクション。車椅子対応閲覧席。美術書コーナー。
展示コーナー。一般利用可。複写サービス有。

H P <http://lib.ouj.ac.jp/>



日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館

所在 〒261-8545

千葉県美浜区若葉 3-2-2（JR 京葉線海浜幕張
駅北口から徒歩約 10 分）

電話 043-299-9716 FAX 043-299-9734

開設 1958 年 12 月

面積 9,151 m²

蔵書 図書：385,633 冊 雑誌：3,706 誌

新聞：476 誌

開館 月～金、第 1・3 土（10：00～18：00）

休館 第 2・4・5 土、日、祝日、毎月最終日、
年末年始

特徴 発展途上地域の経済・政治・社会等に関する文
献を所蔵する専門図書館。書架開架式。複写サー
ビス可。BDS 設置（手荷物持込不可）。

H P <http://www.ide.go.jp/Japanese/Library/>



植草学園大学図書館

所在 〒264-0007 千葉市若葉区小倉町 1639-3

- ・ 千葉駅より 千葉駅東口ちばシティバス11
番乗り場から「植草学園」行きバス(約30分)
- ・ 都賀駅より 都賀駅東口ちばシティバス4番
乗り場から「植草学園」行きバス(約15分)
- ・ 千葉モノレール 千城台北駅出口2より大
学・短大まで徒歩約10分

電話 043-233-9322 FAX 043-239-2649

開設 2008年4月

面積 1,182㎡

蔵書 図書：44,775冊 雑誌：335誌 新聞：10紙
CD：315 DVD：1,598

開館 平日：9時～21時 土曜日：9時～15時
(夏・冬・春期の休業期間中は、平日のみ(9時～17時)の開館)

休館 日、祝日、創立記念日(11月13日)、年末年始、
休業期間中の土曜日

特徴 障害児教育・介護等福祉関連資料所蔵。一般利用
可。複写サービス有。

H P http://www.uekusa.ac.jp/school_life/library



千葉市生涯学習センター調査・資料室

所在 〒260-0045

千葉市中央区弁天 3-7-7 (JR 千葉駅東口または
北口から徒歩8分)

電話 043-207-5815 FAX 043-207-5817

開設 2001年4月

面積 183㎡

蔵書 図書：24,228冊 雑誌：66誌 新聞：25誌

開館 月～金(9:00～17:00)

休館 毎月第4月曜日(祝日にあたるときは火曜日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

特徴 生涯学習に関連した専門情報を収集・整理して閱
覧に供する専門資料室。BDS 設置(カバン等持込
不可)。一般利用は、閲覧のみ可。複写サービス有。

H P http://chiba-gakushu.jp/know/know_03_11.html



千葉県立保健医療大学図書館

所在 〒261-0014

千葉県美浜区若葉 2-10-1

電話 043-272-2987 FAX 043-272-2988

開設 2009 年 4 月

面積 843 m²

蔵書 図書：66,899 冊 雑誌：1,324 誌 新聞：2 紙
CD：10 DVD：325

開館 月・金（8：45～21：00）、火～木（8：45～20：00）、土（9：00～17：00）、休業中（月～金 9：00～17：00、土休館）

休館 日・祝日・年末年始・毎月最終木曜日、休業期の土・特別整理期間

特徴 看護・栄養・歯科衛生・リハビリテーションの各学科を持つ大学のため、図書館の蔵書は看護や保健医療に関する本や雑誌が中心。保健医療関係の文献探索に有用なオンラインデータベースや、オンラインジャーナルを導入。本館（幕張キャンパス図書館）のほか、仁戸名キャンパス図書館がある。

H P <http://www.pref.chiba.lg.jp/hoidai/kyouiku/toshokan.html>



増田学園図書館

所在 〒260-0006

千葉県中央区道場北 1-17-6

電話 043-225-4151 FAX 043-227-7278

開設 1988 年 12 月

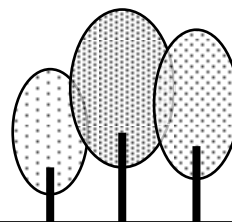
面積 303 m²

蔵書 図書：12,206 冊 雑誌：8 誌 新聞：4 誌
DVD：303

開館 月～金（8：30～16：30）

休館 土、日、祝日

特徴 千葉聖心高等学校、附属幼稚園、附属保育園の総称。一般公開はしておらず、学内利用のみ。



平成 26 年度第 2 回研修会報告

千葉大学附属図書館にて、平成 26 年度第 2 回研修会を開催しました。

今回は、「大学図書館における多彩な空間利用」をテーマに中原由美子氏(千葉大学附属図書館)の事例報告と、千葉大学附属図書館の施設見学を行いました。

開放的なプレゼンテーションスペースでのお話は、千葉大学附属図書館の多彩な空間利用を体感できるものでした。

新しい図書館の取り組みについて活発な質疑が交わされ、

非常に有意義な研修会となりました。



千葉大学附属図書館

日 時 平成 27 年 2 月 6 日(金) 15 時 00 分～17 時 00 分:事例報告・施設見学

会 場 千葉大学附属図書館 N 棟 1F プレゼンテーションスペース

テ ー マ 「大学図書館における多彩な空間利用」

発 表 者 な か は ら ゆ み こ 中原 由美子氏(千葉大学附属図書館)

施設見学 千葉大学附属図書館

事例報告

「大学図書館における多彩な空間利用」

千葉大学附属図書館

中原 由美子

“学生は静寂空間と会話可能空間の両方を求めている”

平成 27 年 2 月 6 日(金)、千葉大学附属図書館において、千葉市図書館情報ネットワーク協議会研修会の一環として「大学図書館における多彩な空間利用」と題するお話をさせていただく機会があった。講演では、学生を中心とした利用者に対してどのような空間を提供するか、またこれらの空間が学生にどのように受け入れられているのか、教員組織であるアカデミック・リンク・センターとの共同プロジェクトの中で実施された

調査結果を踏まえて報告し、その後図書館の建物全体を見学していただいた。

近年、大学教育におけるアクティブ・ラーニングの機運が高まっていることを受け、千葉大学では 2012 年から 2 年間にわたって附属図書館本館(以下、本館)の建築物そのものの増改築を行い、N 棟、I 棟、L 棟、K 棟という 4 つの建物で構成されるようになった。2014 年 9 月末に L 棟の改築を終了した本館は、中でも N・I 棟をアク

ティブ・ラーニングに適した会話可能空間、L・K 棟を個人で静かに勉強するのに適した静寂空間として利用者に提供している。

会話可能空間では、プレゼンテーションスペースやコミュニケーションエリアなど、「発表する」「対話する」ことを旨とした施設が用意されており、キャスターつきのテーブル・イス・ホワイトボードがそこここに置かれているため、学生はこれらを自由に動かして話し合い学習をすることができる。

そして静寂空間では、改修されたばかりのL棟に静寂閲覧室が新設されるなどのゾーニングがなされている。また特にN棟を中心として、利用者間で「見る」「見られる」関係を構築するため、仕切りを少なくしたオープンスペースとしたり、フロア内につくられた部屋をガラス張りにしたりといった工夫が見られる。

このように学習・教育に役立つ空間と設備が充実している本館だが、それでは改築前と比べて学生の本館の利用の仕方は変化したのか、また現状の図書館サービスに満足しているのか。千葉大学附属図書館ではこれらの疑問を解決す

べく、アカデミック・リンク・センターと協力して「情報利用行動定点観測プロジェクト」を立ち上げ、学生の情報利用行動を継続して調査している。

調査結果を分析していく中で、附属図書館とアカデミック・リンク・センターは、学生は静寂空間と会話可能空間の両方を求めていること、自由度の高い会話可能空間であっても「見る」「見られる」関係の構築により学生のモチベーションが維持され、緩やかながら秩序が形成されること、また学生が行う「学習」は多種多様であることなどを把握している。今後はL棟のリニューアル開館による変化

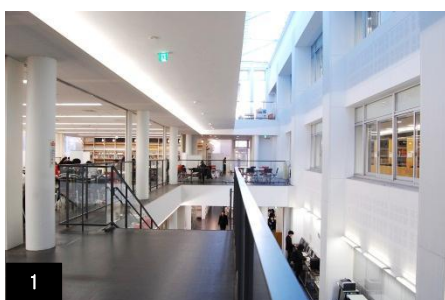
の把握や図書館サービスの広報の改善が課題となる。どの図書館にも言えることであるが、図書館員が直接利用者の声を聴く・行動を見る機会の重要性を意識し、今後の利用者サービスに還元していくことは非常に重要であると言える。



中原由美子氏 千葉大学附属図書館

図書館見学

「写真で振り返る千葉大学附属図書館見学」



千葉大学附属図書館 データ

所在地：稲毛区弥生町 1-33

TEL: 043-290-2258

FAX: 043-290-2265

開館日時：平日 8:30-21:45、土・日・祝日 10:30-18:00、試験期(平日 8:30-23:00、土・日・祝日 10:30-20:00)、休業期(平日 9:00～16:45)

休館日：年末年始・休業期の土・日・祝日、館内整理期間(8月中旬)、大学祭(11月初旬)、入学試験日

利用対象：条件なし

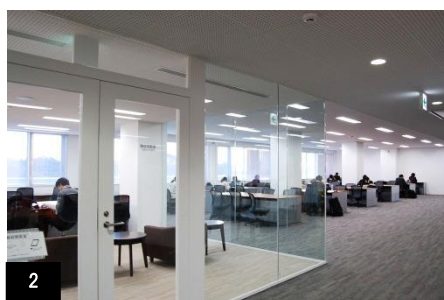
その他：閲覧条件(閲覧願記入、身分証明書の提示)

貸出条件(20歳以上、身分証明書の提示、利用証代実費[350円])

※館外貸出用「図書館利用証」発行手続きは、平日(10:00-18:00)のみ

千葉大学附属図書館 HP:

<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/>



- 1/N棟とK棟を開放的で明るい吹抜が繋ぐ。
- 2/L棟静寂閲覧室。静かに学習したい人のためのガラス張りの閲覧室。
- 3/ブックセンターと図書館のコラボ企画。
- 4/書架には、授業関係資料が並ぶ。
- 5/窓側の座席。座席の間隔が広く、ゆったりと利用できる。



平成 26 年度加盟館一覧

No.	加盟館(室)名	No.	加盟館(室)名
1	放射線医学総合研究所図書室	14	千葉市若葉図書館
2	神田外語大学附属図書館	15	千葉市緑図書館
3	敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	16	千葉市美浜図書館
4	淑徳大学附属図書館千葉図書館	17	千葉大学附属図書館
5	千葉経済大学総合図書館	18	千葉明德短期大学図書館
6	千葉県立中央図書館	19	東京歯科大学図書館
7	千葉市議会図書室	20	東京情報大学情報サービスセンター
8	千葉市教育センター図書資料室	21	放送大学附属図書館
9	千葉市美術館美術図書室	22	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館
10	千葉市中央図書館	23	植草学園大学図書館
11	千葉市みやこ図書館	24	千葉市生涯学習センター調査・資料室
12	千葉市花見川図書館	25	千葉県立保健医療大学図書館
13	千葉市稲毛図書館	26	増田学園図書館

平成 26 年度役員一覧

役 職	館 名	氏 名	備 考
理 事	千葉経済大学総合図書館	齊藤 誠一	会 長
理 事	千葉市緑図書館	古館 生雄	副会長
理 事	神田外語大学附属図書館	吉野 知義	
理 事	敬愛大学・千葉敬愛短期大学メディアセンター	居石 幸子	
理 事	千葉県立中央図書館	高橋 正名	
理 事	千葉大学附属図書館	大山 努	
理 事	放送大学附属図書館	奥村 小百合	
理 事	日本貿易振興機構アジア経済研究所図書館	泉沢 久美子	
理 事	増田学園図書館	南波 省吾	
監 査	千葉市生涯学習センター	鈴木 康夫	
監 査	淑徳大学附属図書館千葉図書館	荒木 由紀子	
機関紙担当	千葉市緑図書館	—	
機関紙担当	千葉市中央図書館	—	
HP管理担当	千葉市中央図書館	—	
事務局	千葉市中央図書館	—	

Network通信 千葉市図書館情報ネットワーク協議会 20 周年記念 No.45 合併号 2015 年 3 月 31 日発行

千葉市図書館情報ネットワーク協議会事務局：〒260-0045 千葉市中央区弁天 3-7-7 千葉市中央図書館内

TEL 043-287-3980 FAX 043-287-4074 千葉市図書館情報ネットワーク協議会 HP:<http://www.ccal.jp/>



